

平成28年度 自己評価報告書

評価対象期間 自：平成28年 4月 1日

至：平成29年 3月31日

評価基準日 平成29年 4月 1日

学校法人栗岡学園

阪奈中央リハビリテーション専門学校

評価項目の達成および取り組み状況

1. 教育
2. 施設・設備
3. 学生サービス
4. 教育面などでの特筆すべき取り組み

回答責任者：福永 宣典（役職：作業療法学科長）、上原 眞一（役職：理学療法学科長）

教育分野 (以下に点検・評価する教育分野の番号を○で囲んでください。)

①リハビリ 2 看護

1 教育

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
1. カリキュラムは貴校の教育目標をどのように反映していますか	教育理念に基づき段階的に机上から臨床へのステップアップを図れている。また臨床現場に役立ち、人に信頼される作業療法士の養成を目標としている。	豊かな知識を持つことはもちろんではあるが、豊富な実習時間により対象者の立場に立つことができる人材を養成できている。今後は指定規則改正に向けての再編が必要である。実習の実施時期が年末までであるために国家試験対策が遅れ気味な印象がある。	5 (4) 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	指定規則の改正を控え、専門科目の単位数、講義時間数を見直す。 卒業要件を見直し、国家試験合格率向上を目指したい。
2. カリキュラムに卒後の職場のニーズをどのように反映していますか	理学療法士の職域の拡大による専門科目（がんリハ等）が不足しており、卒後教育に委ねている科目がある。作業療法士は供給不足気味であるが、免許を取得しておれば誰でも良いということではなく、高い能力のある人材が求められている。	近年の職域の拡大により現行のカリキュラムで触れていないことがある。卒業生が就職した施設からの求人リピート率は高い。作業療法士の精神障害領域への求人若干対応が不足している。	5 (4) 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	がんリハ等、時代のニーズに合わせたカリキュラムの確保や、作業療法士の精神科領域の就職を希望する方の比率を高めたい。
3. 授業科目の学年進行や時間配分は適切ですか	授業の大まかな進行は、基礎科目→専門基礎→専門科目→臨床実習という流れとなっており、早期の段階から国家試験に向けた取り組みを行っている。	時間配分に関しては、専門科目にやや問題があったりする。また、指定規則の改正に向け、実習時間の追加と実習内容の改善が必要である。	5 (4) 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	指定規則の改正を控え、専門科目の単位数、講義時間数を見直したり、講義の中で実施している施設見学、プレ観察実習の見直しを図っていく。最終的には卒業要件を見直し、国家試験合格率向上を目指す。

<p>4. シラバス（授業要項）を作成していますか（内容は適切ですか）</p>	<p>全ての科目について担当講師の責任で作成している。入学時に学生への配布、実習施設へは講義概要として配布している。</p>	<p>講義終了後に講義日誌との比較は十分実施はできていなかったり、講師により内容の詳細度にばらつきがある。</p>	<p>5 十 分</p> <p>4 ←</p> <p>3 つ</p> <p>2 →</p> <p>1 十 分</p>	<p>内容にばらつきが出ないよう、特に非常勤講師の先生方にはご理解をいただき可能な限り詳細に作成いただくように努める。</p>
<p>5. カリキュラムの見直し体制はどのようにしていますか</p>	<p>カリキュラムはガイドラインに従い定期的に見直し、指定規則改変に向けて学科長・主任でプロジェクトを立ち上げていく。</p>	<p>一つの科目の問題点を改善するためには学年、他科目等を合わせて検討の必要があるが、非常勤講師の意見はやや反映されにくい。</p>	<p>5 十 分</p> <p>4 ←</p> <p>3 つ</p> <p>2 →</p> <p>1 十 分</p>	<p>非常勤講師や臨床実習施設と活発な意見交換を行い、より充実したカリキュラムを編成していくため、学科責任者で改正に向けた骨子案を作成中である。</p>
<p>6. テキストや教材をどのような基準で採用していますか</p>	<p>国家試験の出題範囲考慮し、科目担当の裁量で決定しているが、専任教員については学科全員で決定している。</p>	<p>学生の現状レベルに合わせ、国家試験の出題基準に則したテキストの選択が必要な科目も存在する。</p>	<p>5 十 分</p> <p>4 ←</p> <p>3 つ</p> <p>2 →</p> <p>1 十 分</p>	<p>学生の現状を講師の先生方に理解をいただき、必要に応じ学校側から適切なテキストのご提案をさせていただく。また、国家試験対策では学生負担にならぬように再考していく。</p>
<p>7. 目標とする教育効果を踏まえて適切に成績評価を行っていますか</p>	<p>各科目の判定結果をもとに、学科会議にて教育的な効果について検討を行っている。</p>	<p>外来講師の終講試験の難易度や採点基準にばらつきがあるため、救済する科目がある。 情意領域の評価については教員間の格差が生じないように検討している。また、科目判定を会議、進級判定会議を定期的実施し、厳正な評価に努めている。</p>	<p>5 十 分</p> <p>4 ←</p> <p>3 つ</p> <p>2 →</p> <p>1 十 分</p>	<p>非常勤講師に適切な出題と採点をお願いしていく必要があり、公正かつ厳正に評価していきたい。</p>

8. 学生の理解度に応じて授業を柔軟に進めていますか	科目ごとの授業評価結果等を参考に授業内容の確認と改善を行ったり、クラス担任との面談を通じて学生の理解度を確認している。また内部教員についてはグループでのディスカッション等を用いながら学生参加型の講義に重点を置いている。	外来講師については理解度が不足している場合がある。その場合は特別講義などを設けて補充をおこなっている。	5 十 分 ← つ → う 分	4 3 2 1 ふ 不 十 分	学生の理解度を確認・考慮する講義を進行する必要がある。外来講師は、講師により若干の温度差があるので、是正していく必要がある。
9. 学生の学力不足を補うための教育をとくに実施していますか	1年次より補講制度、特別講義、グループ学習を適宜実施し、担当教員が学力不足を補うような取り組みを行っている。	各学年でグループ編成しそれぞれ担当教員を配置し、定期的に確認や指導を実施している。補講に関しては、もう少し十分な時間数を確保する必要がある。3年生の特別講義は充実していると思われる。	5 十 分 ← つ → う 分	4 3 2 1 ふ 不 十 分	自分の担当以外の学生状況についても科目担当、担任等が随時全員に発信していく必要がある。また、補講の時間が確保できるような学事を検討していく。
10. マナー（喫煙指導などを含む）やしつけの教育や指導を行っていますか	全教員が、利己的でなく、周囲のことを冷静かつ客観的にみることができ指導を実施している。	臨床で求められるマナーとそれ以前の社会人としてのマナーについても各教員が気付いた時に指導している。また、頭ごなしで叱るのではなく、「なぜそれが必要か？」を理解できるよう丁寧に指導する。	5 十 分 ← つ → う 分	4 3 2 1 ふ 不 十 分	今後も保護者の協力を仰ぎ、一人一人の学生と対話し、常に周りのことに配慮できる教育を指導し、継続していく。
11. 教育技術（教育方法）の研修・研究を実施していますか	毎年行われる教育研究大会・研修会には学科から必ず1名は参加し、教育技術についての知見を得ており、学科内で伝達講習を行う。	学科運営の都合上、研修会等の参加が一部制限される場合もある。	5 十 分 ← つ → う 分	3 2 1 ふ 不 十 分	役職者を中心に、教員資質の改善に関してさらに高い意識をもち、より積極的に自己研鑽を行うことが必要である。
12. 学生による授業評価を実施し教育改善に反映していますか	科目ごとに授業評価を実施し、授業内容の改善に努めている。	評価結果に関しては、学内で常時閲覧できるが、各講師へのフィードバックは十分とは言えない。	5 十 分 ← つ → う 分	4 3 2 1 ふ 不 十 分	非常勤講師にはアンケートを開示できる旨のアナウンスを積極的に実施していく。

2 施設・設備

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
1. 教室の数や広さ、付帯設備は適切ですか	教室の数、広さ、付帯設備は十分具備されているが、構造上、外来講師の授業中では、学生の受講状況が確認できない事がある。	部屋数は十分であるが、単位認定試験を行うための部屋の確保が困難なときがある。視聴覚設備は充実しており、授業進行がスムーズになった。	5 (4) 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	各学科の授業予定を把握したり、部屋のレイアウト等を工夫して、一時的に部屋が確保困難な状況を回避するよう努力する。
2. 図書室を設け蔵書を適切に揃えていますか（有効に活用されていますか）	・書籍や設備は四條畷看護専門学校の図書室に揃っている。	・毎月最新の雑誌が到着しており、全ての開架にて閲覧することが可能である。図書室利用には少し移動が必要となる。	5 (4) 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	古い蔵書の刷新や最新書籍の購入により、魅力のある図書室になるよう随時更新していく。
3. 実習・実験室の数や広さ、付帯設備は適切ですか	学生定員に対し適切な広さの教室が確保できている。	講義棟では視聴覚教材の使用が容易になったが、一部の物理療法機器は旧校舎に設置しており、回数は少ないが校舎を移動しなければならない事がある。	(5) 4 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	非常勤講師等の意見も参考にし、今後も授業環境の向上に努める。
4. 最新機能を備えた視聴覚機器や情報機器は足りていますか（有効に活用していますか）	視聴覚機器や情報機器は学生定員に対して足りている。また、各教員にPCを配置し、LAN環境のWi-Fi化により印刷や情報共有が容易になった。	少しずつではあるが有効に活用できつつある。	(5) 4 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	今後、必要に応じて時代のニーズに合致した最新の機器に更新する必要がある。
5. ニーズに応じた学生寮を保有していますか（有効に活用されていますか）	今年度より、女子寮を講義棟に平併設した。	女子寮には寮母が在住しており、万が一の時も対応がとれるようにしている。	(5) 4 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	運営してから間もないこともあり、設備に関して不十分な所もある。今後の検討課題とし、見直していく。

6. 体育館や運動場などを保有していますか（有効に活用されていますか）	入学式・卒業式や1年次の保健体育の授業で使用している体育館や広い芝生広場を有しており、有効に活用されている。	当法人の関係者だけでなく近隣住民の方々にも開放している。	<table border="1"> <tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>+</td><td></td><td>ふ</td><td></td><td>不</td></tr> <tr><td></td><td>←</td><td>つ</td><td>→</td><td>+</td></tr> <tr><td>分</td><td></td><td>う</td><td></td><td>分</td></tr> </table>	5	4	3	2	1	+		ふ		不		←	つ	→	+	分		う		分	これからも地域に貢献できる学園を目指していきたい。
5	4	3	2	1																				
+		ふ		不																				
	←	つ	→	+																				
分		う		分																				

3 学生サービス

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策																				
1. クラス担任制をとり修学の問題のある学生に対して適切な対応を行っていますか	クラス担任制を導入し、きめ細かい指導を心掛けている。また、保護者と文書や電話で連絡をとり、連携をとっている。また、問題のあった学生については、報告書の作成とともに学科会議にて全教員での対応検討を行っている。	各学年2名体制（担任・副担任）ととり、適宜面談を実施し、学科全体で情報を共有して問題が拡大する以前に対応する。	<table border="1"> <tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>+</td><td></td><td>ふ</td><td></td><td>不</td></tr> <tr><td></td><td>←</td><td>つ</td><td>→</td><td>+</td></tr> <tr><td>分</td><td></td><td>う</td><td></td><td>分</td></tr> </table>	5	4	3	2	1	+		ふ		不		←	つ	→	+	分		う		分	今後も保護者を含めた3者面談を積極的に実施し、学校⇄学生⇄保護者の連携を強め、留年者、退学者を減少させるよう努力する。
5	4	3	2	1																				
+		ふ		不																				
	←	つ	→	+																				
分		う		分																				
2. 学生に対してカウンセリング（心理相談）を行っていますか	全学生にアナウンスを実施し、教員面談のなかで必要と思われる場合は利用を勧めている。実習で心理的に不安定になった学生が利用している。	臨床心理士の方が適宜対応している。	<table border="1"> <tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>+</td><td></td><td>ふ</td><td></td><td>不</td></tr> <tr><td></td><td>←</td><td>つ</td><td>→</td><td>+</td></tr> <tr><td>分</td><td></td><td>う</td><td></td><td>分</td></tr> </table>	5	4	3	2	1	+		ふ		不		←	つ	→	+	分		う		分	対応できる時間帯を大学生ホール、小学生ホールを2部屋、各所にソファが設置されており、休憩時間には学生が有効利用している。拡大していくよう努めていきたい。
5	4	3	2	1																				
+		ふ		不																				
	←	つ	→	+																				
分		う		分																				
3. 教室以外に休憩スペースが適当に置かれていますか	大学生ホール、小学生ホールを2部屋、各所にソファが設置されており、休憩時間には学生が有効利用している。	講義棟への移転により、学生用スペースがかなり充実した。	<table border="1"> <tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>+</td><td></td><td>ふ</td><td></td><td>不</td></tr> <tr><td></td><td>←</td><td>つ</td><td>→</td><td>+</td></tr> <tr><td>分</td><td></td><td>う</td><td></td><td>分</td></tr> </table>	5	4	3	2	1	+		ふ		不		←	つ	→	+	分		う		分	大学生ホールの利用時間を拡大するよう、検討していく。
5	4	3	2	1																				
+		ふ		不																				
	←	つ	→	+																				
分		う		分																				
4. 食事場所や売店などのスペースが設けられていますか	学生が食事をするのに十分なスペースが確保できている。売店は無いが、弁当の注文販売や、週に複数回のパン屋・ヤクルトの出張販売があり、自動販売機も設置されている。	自動販売機が設置されているが、販売種目がやや少ない。	<table border="1"> <tr><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>+</td><td></td><td>ふ</td><td></td><td>不</td></tr> <tr><td></td><td>←</td><td>つ</td><td>→</td><td>+</td></tr> <tr><td>分</td><td></td><td>う</td><td></td><td>分</td></tr> </table>	5	4	3	2	1	+		ふ		不		←	つ	→	+	分		う		分	食事場所については十分である。売店については近所にスーパーやコンビニが充実しているので学内の売店については無くても問題は無い。
5	4	3	2	1																				
+		ふ		不																				
	←	つ	→	+																				
分		う		分																				

5. 学校独自に奨学金や特待生制度を行っていますか	現段階では学校独自の奨学金や特待生制度は行っていないが、診療費補助制度や特別学費支援制度などがある。	奨学金に関しては日本学生支援機構の奨学金も案内し、大半が利用しているので、学校独自のものが無いことは直近の問題ではないと思われる。	5 4 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	学校独自の奨学金や特待生制度は、学生にとって望まれているものである。今後前向きに検討していきたい。
6. その他			5 4 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	

4 教育面などでの特筆すべき取り組み(自由記入)

※学内においてこれまで記入したこと以外に、教育、施設・設備、学生サービス面での特筆すべき取り組みがあれば記入ください。

以上